

企画名	金山落・手賀沼生き物観察、船上見学 ～みてみよう！ふれてみよう！川と沼の中のいのちのにぎわい～																																																																	
実施団体	団体名 今井の桜保全プロジェクト・白井市環境フォーラム実行委員会 問合せ先 白井市白井コミュニティセンター 山崎 雅由 TEL: 047-491-1505 E-mail: mail@shiroi-com10.com																																																																	
目的	市内を流れる金山落今井地区の用水路の生き物を採取し観察する。その後、マイクロバスで手賀沼へ移動し、船上から手賀沼を見学。下船後、漁師さんに定置網の獲物を見せてもらい手賀沼の生き物を観察する。白井市の小学生親子に馴染みの薄い手賀沼に関心を持ってもらう。また今井の桜並木の保全が急務であることを知ってもらう。																																																																	
日時	2018年 9月 29日（土）9：00～15：00																																																																	
プログラム・概要・ルート等	9：00 白井市役所集合 9：20 金山落 今井3号橋 魚とり体験、観察 講師 鈴木規慈さん（ミヤコタナゴ保全研究会 副会長） 11：30 バス乗車、手賀沼親水広場水の館へ 11：50 水の館 研修室で昼食、休憩 12：25 今井の桜並木について説明 12：40 桟橋へ移動 12：50 船上見学 13：40 フィッシングセンター 漁師 深山卓さんの獲物を観察 14：35 バス乗車 白井市役所へ 15：00 白井市役所 解散																																																																	
参加対象	小学生の親子 24名																																																																	
参加人数	一般参加 21名（大人11名、子ども10名） 会員スタッフ 13名（会員・環境課10名、講師2名、お手伝い1名）																																																																	
 田んぼの用水路を タモ網でガサガサ！  金山落にかご網を仕掛けます  どんな魚が入っているかな？ 手賀沼で、漁師の深山さんが前日から仕掛けた定置網を引き上げる様子を船から見学  船の中で水質検査（環境課）   <table><thead><tr><th>つかまえた生き物</th><th>タモあみ</th><th>モンドリ</th><th>捕まえた生きもの</th><th>タモあみ</th><th>モンドリ</th></tr></thead><tbody><tr><td>テナガエビ</td><td>0</td><td>58</td><td>タイリクバラタナゴ</td><td>0</td><td>40</td></tr><tr><td>スジエビ</td><td>136</td><td>110</td><td>カダヤシ</td><td>26</td><td>0</td></tr><tr><td>モツゴ</td><td>20</td><td>45</td><td>ブルーギル</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>タモロコ</td><td>1</td><td>1</td><td>アメリカザリガニ</td><td>19</td><td>0</td></tr><tr><td>ツチフキ</td><td>1</td><td>1</td><td>オタマジャクシ(ウシガエル)</td><td>27</td><td>0</td></tr><tr><td>ヌマチチブ</td><td>14</td><td>2</td><td>ニホンアマガエル</td><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>ヨシノボリ</td><td>14</td><td>4</td><td>ゲンゴロウ</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>ドジョウ</td><td>56</td><td>20</td><td>シナヌマエビ</td><td>13</td><td>0</td></tr><tr><td>メダカ</td><td>6</td><td>0</td><td>タニシ</td><td>1</td><td>0</td></tr></tbody></table>							つかまえた生き物	タモあみ	モンドリ	捕まえた生きもの	タモあみ	モンドリ	テナガエビ	0	58	タイリクバラタナゴ	0	40	スジエビ	136	110	カダヤシ	26	0	モツゴ	20	45	ブルーギル	0	1	タモロコ	1	1	アメリカザリガニ	19	0	ツチフキ	1	1	オタマジャクシ(ウシガエル)	27	0	ヌマチチブ	14	2	ニホンアマガエル	2	0	ヨシノボリ	14	4	ゲンゴロウ	1	0	ドジョウ	56	20	シナヌマエビ	13	0	メダカ	6	0	タニシ	1	0
つかまえた生き物	タモあみ	モンドリ	捕まえた生きもの	タモあみ	モンドリ																																																													
テナガエビ	0	58	タイリクバラタナゴ	0	40																																																													
スジエビ	136	110	カダヤシ	26	0																																																													
モツゴ	20	45	ブルーギル	0	1																																																													
タモロコ	1	1	アメリカザリガニ	19	0																																																													
ツチフキ	1	1	オタマジャクシ(ウシガエル)	27	0																																																													
ヌマチチブ	14	2	ニホンアマガエル	2	0																																																													
ヨシノボリ	14	4	ゲンゴロウ	1	0																																																													
ドジョウ	56	20	シナヌマエビ	13	0																																																													
メダカ	6	0	タニシ	1	0																																																													
参加者や実施団体の感想	(参加者アンケートより) ・金山落で魚とり体験の前後の説明がとても良かった。網を勝手にしかけてはいけないことや、外に持ち出してはいけない魚がいることなど初めて知った。 ・手賀沼で、漁師さんがしかけてくれたあみを取り上げる所から見られてよかったと思います。色々な魚がいて子供の目もかがやいていました。 ・この手の体験型イベントを増やして頂きたいです。																																																																	

企画名	ぐるっと一周平塚の里
実施団体	団体名 NPO法人しろい環境塾 問合せ先 興津 功 TEL: 047-404-3298 Email: shiroikakyojuku@kce.biglobe.ne.jp ホームページ: http://kankyojuku.sunnyday.jp/
目的	手賀沼等里山を散策することを通し、自然保護や寺社文化財等を次世代に引き継ぐための市民の役割を考える。
日時・場所	2018年11月24日(土) 10:15~15:00
プログラム・概要・ルート等	【プログラム概要】 白井市平塚地区には、日本の原風景である里地里山が残されている。その里山 ①谷津田のもつ歴史 ②南手賀沼の歴史と役割 ③平塚地区の歴史、文化、民族、風習について、郷土史家の案内でそぞろ歩きした。 散策を通して、①里山保全のための市民の活動実績を知る。②里山の自然を次世代に引き継ぐために何をなすべきか、特に市民の役割について考える。③寺社、文化財、歴史等を堪能する等の貴重な機会となった。 【ルート等】 10時15分 延命寺北側ベースキャンプ出発⇒八幡神社・鳥見神社⇒旧平塚分校⇒延命寺⇒瀧田家(国重要文化財)⇒「舟戸」の歴史⇒下手賀沼⇒カンナ街道⇒ベースキャンプ着12時30分(昼食) 13時15分 ベースキャンプ出発⇒小森入口⇒小森古墳⇒小森城跡⇒ベースキャンプ着15時
募集対象	市民
募集人数	一般参加 8名(大人8名) 会員スタッフ 7名(会員6名、講師1名)
 そぞろ歩き・オリエンテーション  鳥見神社  延命寺  平塚・旧道を歩く  重要文化財・滝田家  下手賀沼の湖畔を歩く	
参加者や実施団体の感想	講師は、延命寺檀家で地元の郷土史家を招聘。講師を含めた15名での散策となった。参加者は講師の説明に熱心に耳を傾け、メモを取り質問も多く出された。終了後、参加者は白井市平塚地区の景観の素晴らしさ、地元農家の努力、谷津田の保護・保全の活動に取り組む各種団体の活動に感銘を受けていた。

企画名	手賀沼流域里山散策会
実施団体	団体名 印西ウエットランドガイド 問合せ先 阿部 純 TEL: 0476-47-1455 Email: jun-abe-1@msi.biglobe.ne.jp ホームページ: http://www5f.biglobe.ne.jp/~yatudadayori/index.htm
目的	手賀沼流域の弁天川沿い及び江戸期に栄えた旧木下河岸付近を散策し水辺環境を知る機会とする。
日時	2018年10月6日(土) 9:30~15:30
プログラム・概要・ルート等	・木下駅を出発、弁天川(手賀沼流域)に沿って散策。例年目立つ水面に繁茂する外来帰化植物ナガエツルノゲイトウはあまり目立たなかった。春に大々的に駆除した効果がまだ続いているのだろうか。その後、水辺の文学インフォメーション館、国天然記念物指定木下貝層を訪問し、木下万葉公園で昼食をとった。 ・午後は、木下交流の杜の展望デッキから利根川の全景を眺め。その後、旧木下河岸問屋「吉岡問屋の土蔵」見学と利根川土手にある木下河岸跡を訪れました。途中奈良時代から続いているという竹袋稻荷神社祭礼の山車に出会った。 ●集合 成田線木下駅北口広場 9:30⇒弁天川(厳島神社)⇒木下駅前骨董市見学⇒水辺の文学インフォメーション館(訪問) 10:45 ⇒国指定天然記念物「木下貝層」見学 11:50⇒木下万葉公園(昼食) 12:15~13:00⇒木下交流の杜 13:05~13:20⇒吉岡問屋土蔵(訪問) 13:45~14:30⇒利根川土手の木下河岸跡(見学)⇒まとめ・解散 木下駅北口広場 15:45※このところの天候不順に伴ってキャンセルが多く少人数の散策となった。
参加対象	子どもから大人までどなたでも
参加人数	一般参加10名(大人10名)、会員スタッフ7名(含む内部講師3名)、協力者3名
 手賀沼流域弁天川に沿って歩く  竹袋稻荷神社例大祭山車  水辺の文学インフォメーション館  木下貝層 解説  吉岡問屋土蔵見学  旧木下河岸付近の土手下で	
参加者や実施団体の感想	・少し心配された天候も問題なく散策日和となった。 ・人数は手ごろで移動もスムーズで、時間にゆとりがあった。 ・文学館館長や吉岡問屋の担当者、会のスタッフの解説はどれも適当であった。 ・いつもそうであるが、土手上から見る大河“利根川”の景観は素晴らしかった。 ・散策途中の野鳥、植物、昆虫などの観察はいつもながら楽しい物であった。

企画名	手賀沼の船上見学と我孫子の史跡ウォーキング		
実施団体	団体名 印西 水と暮らしを守る会 問合せ先 竹内順子 TEL : 090-3907-8355 Email : inzaimizukura@yahoo.co.jp		
目的	印西市民にとってなじみの薄い手賀沼により関心を持ち、身近に感じてもらうために、まず我孫子の史跡を歩いて巡り（2.3km）、その後手賀沼を船上より見学し現状を知る。それから、私たちの飲み水に深く関係のある手賀沼を汚さないようにするにはどうしたら良いか考える。		
日時	2018 年 10 月 21 日（日） 9：00～14：40		
プログラム・概要・ルート等	9:30 千葉ニュータウン中央駅北口ロータリー集合 マイクロバス出発 車内で私たちの飲み水について説明 10:10 （徒歩）手賀沼公園→天神坂→三樹荘跡→嘉納治五郎別荘跡（天神山緑地） →杉村楚人冠記念館→楚人冠公園→我孫子市白樺文学館→志賀直哉邸跡 →旧村川別荘→親水広場水の館 ※講師 越岡禮子さん（我孫子の文化を守る会） 12:00 昼食、館内見学、買い物、散策 12:50 玄関前集合 親水広場第2駐車場 我孫子手賀沼漁協棧橋へ移動 13:00 手賀沼船上見学 14:00 手賀沼公園下船→マイクロバス乗車 14:40 千葉ニュータウン中央駅解散		
参加対象	どなたでも（先着申込み24名）		
参加人数	一般参加 21名（大人21名） 会員スタッフ 6名		
 天神坂  嘉納治五郎別荘跡  杉村楚人冠記念館  我孫子市白樺文学館  手賀沼遊歩道（親水広場周辺）  手賀沼船上で水質検査			
参加者や実施団体の感想	参加者アンケートから ・手賀沼の水質向上に多くのボランティアが関わっていることに驚いた。 ・印西市民としても身近な問題として日々水の使い方、汚水の処理には注意して行こうと思いを新たにしました。情報をありがとうございました。 ・我孫子の史跡めぐりは、再度ゆっくり回ってみたい。 ・我孫子がこれほどよいところがあるとは知らなかったのです、良かったです。 ・楽しく、ためになる企画をありがとうございました。いろいろ勉強になりました。		

企画名	秋の生き物探しと落ち葉のプールづくり
実施団体	団体名 亀成川を愛する会 問合せ先 亀成川を愛する会 事務局 TEL：080-3594-6267 Email：kamenarilove@yahoo.co.jp ホームページ：http://www.kamenari-love.com/
目的	亀成川流域の里山には、貴重な生態系と豊かな生物多様性が残っている。小学生のお子さんや保護者の方々に、実際に歩いてみて、実感していただく。また、里山の保全活動を体験し、この一帯の自然に親しみ、関心を持ってもらう。
日時	2018年11月17日（土）9：30～12：00
プログラム・概要・ルート等	集合場所 印西市牧の原地域交流センター 駐車場 9:15 受付開始 9:30 開会 ・開会の挨拶（副会長）・本日の活動内容と注意事項の説明 ※落ち葉のプール作りは、台風21号の影響で落ち枝が多数散乱しているため、急遽中止し、落ち枝で恐竜の巣作り（ビオネスト作り）に変更した。 9:40 調節池東側園路を通り、作業現場に移動する。 10:00 作業現場到着 落ち枝を集め、恐竜の巣作りをする。 10:15 観察会講師のケビン・ショートさん登場 子どもたちひとりひとりにケビンさんから観察キットのプレゼントあり。 観察開始！調節池東側園路→緑地との境の園路→池西側園路→別所緑地西側→古新田川上流部→ここから折り返し→牧の原地域交流センター 12:00 観察会終了
参加対象	小学生から大人
参加人数	一般参加 42名（大人24名、子ども18名） 会員スタッフ8名（会員7名、講師1名）
   落ち枝を集めて恐竜も安心して卵を産める大きな巣ができました。 観察キットのプレゼント    緑地園路を通り抜けるよ！ これは何かな？ 里山も生きもののいっぱい	
参加者や実施団体の感想	参加者からの感想のお便り：「小学校から頂いたチラシを見て何気なく参加させてみたのですが、娘は大変感銘を受けたようで、お風呂に一緒に入っている間に観察セットを頂いた事、拾ってきた植物の事など、とめどなく話してくれました。私自身は神奈川県出身なのですが、海も山もある場所で育ったため、千葉ニュータウンと言うほぼ人の手で作られた町での子育てには不安を感じていました。ですが、こういった活動に参加させていただく事で足りない部分を補える事が分かり、とても嬉しく思っています。是非とも次回のイベントにも参加させて頂きたいと思います。」